

会 議 録

会議の名称		第 13 回（仮称）研究学園小学校、研究学園中学校 開校準備委員会		
開催日時		令和 4 年 7 月 28 日（木） 開会 18：30 閉会 21：30		
開催場所		つくば市役所 2階 201 会議室		
事務局（担当課）		教育局 学務課		
出席者	委員	稲川綾子、橋本恭子、小泉悠、伊藤町香、相澤健太郎 野尻敏弘、富岡暁子、槇幸子、山崎順一、横田瑞香 石黒正美、中原卓治、澤木努、松延亮一		
	事務局	教育施設課係長草間匡人、学び推進課指導主事 中村めぐみ 学務課課長下田裕久、学務課課長補佐川又文江 学務課主任篠原周平、学務課主事霜鳥壮彦		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0 人
非公開の場合はその理由				
議題		(1) 体操服について (2) 制服・体操服の規則について		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開 会 2 議 事 (1) 体操服について (2) 制服について 3 その他 4 閉 会			

< 審議内容 >

1 開会

事務局：ただ今から第13回（仮称）研究学園小学校、中学校開校準備委員会を開催いたします。議事に入ります前に事務局からお願いとなりますが、本日の委員会はAIにより議事の文字起こしを自動で行うシステムを使用しております。このため、大変お手数ですが、御発言の際は必ずマイクを御使用くださいますようお願いいたします。マイク下のスイッチを押していただき、マイク中央部のランプが青く点灯しましたら使用できますので、よろしくお願いいたします。

2 議事

事務局：それでは、これより議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

委員長：皆さんこんばんは。今日もよろしくお願いいたします。今日もよろしくお願いいたします。まず、傍聴の方はいらっしゃるでしょうか。

事務局：本日傍聴の方はいらっしゃいません。

委員長：はい、わかりました。では早速議事に入っていきたいと思いますが、メーカーの皆さん、またご足労いただきましてありがとうございます。いろいろと要望が多くて、ちょっと申し訳なく思っておりますけれども、引き続きよろしくお願いいたします。さて早速ですが、体操服ということで、アンケートをとっていただきましたので、そちらの説明を事務局の方からお願いします。

事務局：はい。事務局です。右上に資料1と書かれましたものをご用意いただければと思います。こちら、先週の金曜日から今週の月曜日にかけて学園の森義務教育学校の児童生徒、保護者を対象に行ったアンケートの結果でございます。事前にお配りしています通り、回答者数の方は一番上に記載させていただいております。全量のものとして新しく研究学園小・中学校の方に通う予定の児童生徒、保護者の方が該当する内訳の方も入れさせていただいております。回答結果ということで、1番の方はジャージ・ハーフパ

ンツのデザインについて、2番についてはジャージ・ハーフパンツの素材、機能についてですね。ページめくっていただいて、3の方はTシャツについてのアンケート結果の方をまとめさせていただいております。黄色くマーカーさせていただいたところが一番得票の多かったところを示させていただきます。以上になります。

委員長：はい、説明ありがとうございます。まずアンケートの結果につきまして、委員の皆様から質問とかあれば、挙手いただければと思いますけども、いかがでしょうか。結果はよろしいですかね。はい。この結果を踏まえてですね、メーカーの方をお願いする試作品をどれにするかといったところを議論して、決めていければなと思っておりますけども、皆様と少し事前に調整はさせていただいている部分あるかと思っておりますけども、基本的にはアンケートした結果で、意向の多いところで作っていければなと思っております。この結果を見てと思ったところは、前回の委員会で委員の中で手を挙げたところと結果が大分変わってきているので、やっぱりこういったニーズをきめ細かく採っていくということが大事だったのかなということで、やった意義は非常にあったのかなと思っております。やっぱり我々の中だけではなくて、子供にもですね、積極的に関わってもらうことで、作り上げていくといったところが大事なのかなといったところで、1つ教訓を得たのかなと思っておりますし、次、別のところの学校でやるのであれば、ぜひこういったところを模範していただければと思ったところがございます。ではどうするのかといったところですけども、メーカーの方々にもあまり負担をかけるのも申し訳ないので、2つぐらいの案で試作品を作っていくようにして、その中から1つを投票形式で、児童生徒と保護者に投票してもらって形で決めていければなと思っておりますけども、その全体の進め方については皆さんいかがでしょうか。その部分はOKという形よろしいですかね。ではその2つを何にするかといったところを議論させて

いただければと思いますけども、意向を踏まえると、デザインにつきましてはプラン2ということで、今日お持ちいただいているところの真ん中のものですかね。これが一番票が多かったと。続いてその次点として、面と向かって右側のやつですかね。この辺が票数多い感じかなといったところで、左手のところは少ないのでプラン1とプラン2のどちらかにするっていう形でいいのかなと思っているところです。何も考えないのであればプラン2かなと思っているところです。素材に関しては、プラン1が大分多いという形で、これから察するに、やっぱり着やすいという感じが、やっぱりニーズとして多いのかなと思います。丈夫さより着やすさがニーズとしては多いのかなといったところがありますので、その辺を踏まえて作ればなといったところで、候補として、デザインはプラン2、機能がプラン1といったところで作るというものが1つあるのかなと思います。もう1つ作る時に、何にするかですけども。前回の委員会の中で、あんまり機能、細かいところはもうわからないだろうといったところですか、もうちょっと明るいのが欲しいというふうのも出てきたかと思いますので、プラン2、プラン1の組み合わせをベースに、もう少しデザイン的に明るさを増したものを作って、その2つで投票するのはどうかなと思いますけども、それは皆さんどうですかね。よろしいですか。ここは皆さん頷いているので、そこはそういう方針にするとして、もう1つの案をどういうふうに華やかにしていくかといったところですけども、この辺、何かメーカーさんから何かこう提案とかあればコメントいただいてもよろしいですか。

ママダ：はい。デザインに関しましては、デザイン2の得票率が一番高かったということですので、これに明るい色の取り入れということになりますと、2点考えられるんですが、紺ベースの部分ですね。そちらを例えば一番向こう側にあるブルーにして、切替えの部分を違う色にするとか、あとこの紺ベースの中で切替えの部分をもっと違う色を取り入れるとか、デザイン

については得票率が高いものですから、このデザインを生かしつつ、そういったデザインパターンとして提案するというのも1つの手かなと思います。

委員長：はい、ありがとうございます。あまり大きく変えちゃうと、アンケートした意味もなくなってしまうので差し色を変えるとか、そんなところなのかなと思いますけども、皆さんいかがですか、今の学森とかと比べて、この辺は入れたいとかあれば、ご発言いただければなと思いますけども、どうでしょうか。

委員：よろしくお願ひします。差し色ということで前回もお話があったと思いますが、プラン2に白いラインを入れたらどうかなと思いました。1番のデザインが良かった、アンケートの結果が良かったっていうのはやっぱり、ぱっと見、学森に近いのと、白いラインが入っているので、見た感じやっぱり締まるっていう感じで、アンケートにも反映したのかなと思いますので、一気にがらりと変えるのは難しいので、例えばその水色の上か下に白いラインを入れたりすると、また締まるのかなと思いました。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。今、ご意見あった通りに、今のデザインをベースに線を追加するみたいな形が対応できるのかどうかという点ではいかがでしょうか。

ママダ：はい。白いライン、こういったパイピングをこちらの方の、例えばこのラインのところとか、今おっしゃられた、こちらの部分に入れるということは縫製上は可能です。

委員長：はい、ありがとうございました。今の学森がやっぱり白が多い形で、ちょっとそこは汚れが目立つという課題もあるんですけども、それが明るい要素としてあるのかなと思っているので、ぜひ、それは方法としては変えていきたいなと思いますけども、何かご意見とかありますでしょうか。特に大丈夫ですか。はい。他に何か、別途実施した制服では子供は赤系の

要望が強いかってというようなこともありますけども、ちょっと差し色的に、とかいろいろ意見としてあるのかもしれませんが、そういった意見も含めて何かありますでしょうか。はい、どうぞ

事務局：事務局です。メーカーさんに確認ですけども、先ほどの白のラインを入れる際なんですけども、これは価格的に今ご提示いただいているものからプラスになったりするものなんでしょうか。

ママダ：はい。パイピングを施すことによって、価格はその分反映されます。

事務局：おおよそどのくらいの値上がり幅でしょうか。

ママダ：まず素材が1番でデザインが2番のものをお作りするというので、素材が1番の価格が一番安くなっておりますけど、この素材1番のものでデザイン2番のものをお作りすることによって、まず、価格的にはこの資料の1番の価格でございませぬ。はい。それをもってパイピングを施すとすると縫製工賃が上がりますので、あとパイピングの費用ですね。概略になりますけども、3～500円はかかってくるかと思ひます。

委員長：はい、ありがとうございます。アンケートするときは、デザイン、試作品を見てもらうと同時に説明文も作らないといけないと思ひてまして、以前いただいた提案資料とかですね、これも例えば紙をちゃんとコーティングしたものを試作品の前に置くとかですね、そういったことはして、価格面と機能面、デザイン面で、最終的に選んでもらえればいいのかと思ひておりますので、そこは線を入れることで、300円程度は上がると思ひますけども、その辺はちょっとそれも含めて、投票してもらえればなと思ひておりますが、あと第2案の方のデザインで、ファスナーのところの色を変えんとかっていう案が出ましたけども、その辺の色を変えることは技術的にはできますか。

ママダ：デザイン1番が白いファスナーを使っておりますけど、そういったものをデザイン2番の方に使用することは可能です。

委員長：感覚的に今のデザイン2のところのファスナーと、水色のところの縁を白く入れるみたいな。案1の縁のところを全部反映させるみたいな形ですかね。はい、お願いします。

委員：自分で言っておいてなんですけど、ファスナーを白にしてしまうと、襟裏も白になる感じですよ。

ママダ：そうです。

委員：それはちょっと洗濯する立場としては嫌だなんていう感じです。校章がここに入ると、何かこっちから見て、左側に入ると、もうちょっと白い部分が増えるので、そんなに暗いと思わないんじゃないかなと思いました。

委員長：はい、ありがとうございます。他は皆さんいかがでしょうか。はい、お願いします。

委員：ジャージの上着の部分は胸より上の部分と、その切替えた下の部分っていうのは違う素材になっているんですけど。デザインはちょっと違うようにも見えているんですけども。

ママダ：はい。見た目はそういうふうに見えるんですが、同じ素材を使用しております。簡単に言うと、縦と横の生地使いでそのように見えるように施しております。

委員長：他、質問含めて、はい、お願いします。

委員：前日も発言したんですけども、濃紺の部分をちょっといじったパターンが見てみたいなのがあるのがあって、先ほどメーカーさんからご提案いただいたように、濃紺を鮮やかな青、例えば左のとかでもどうかと思っていますんですけど、一方で何か体操服って基本的には運動するための服だと思うんですけど、コロナの関係で今、授業中とかもずっと体操服を着ているんですかね。そうした時に、先生は何か生徒さんの立場に立つと、落ち着いた色の方が勉強面でも集中できるっていうことであれば、それでもいいかな。暗い色でもいいかなと思っていますので、ちょっとそこら辺、

先生の感触とかがあれば教えていただきたいなと思いました。

委員：やはり、あまりこう華美でないものが学校としても望ましいかなと思っています。

委員長：はい、ありがとうございます。案としては差し色を入れるか、ベースのところをちょっと明るくするかっていうところが出てきていると思いますが、どうしましょうかね。なかなか悩ましいな。差し色は何か、皆さんもイメージしやすいと思うんですけども、先ほど意見があったようなところは、感覚的には一番左手のような色合いにしていく形ですかね。その辺はどこまで明るくするのかというのは、気持ち明るくして、なおかつ差し色を入れるとかというところもあるかなと思いましたけど、その辺は、対応はできるものですか。

ママダ：あまり大きく変えてしまうと、デザインで一番左側のニーズが逆にあまり高くはなかったのも、そこを強調するのもちょうどどうかなというのがあって、生地そのものの色というのがございまして、一般的に紺、ブルー、スカイブルー、緑、赤、黄色があるんですが、そのちょっと薄い紺というのはございませぬので、ブルーということになります。ですから差し色の部分で、先ほどおっしゃられましたけども、選択の部分がありますけどもその切替えの部分を例えば白にするとか、そういったところで、なんですかね。見た目の明るさっていうものを補うとかになります。

委員長：はい、ありがとうございました。なかなか、色合いを変えると一番左になってしまうということで、ニーズが低かったということで、差し色でいくというような形でもよろしいですかね。大きなところは、白があまり多すぎるという汚れが目立つということだったので、気持ち入れるくらいなんでしょうか。一番右手のラインの太さくらいを少し入れていく形で、メーカーさんの方で、細かい形になるかと思えますけれども、作ってもらう形で皆さんいいですか、どうでしょうか。

委員：近隣の学校のジャージの色の調査とかというのはされているんですか。

ママダ：はい。つくば市内の体操服に関しては、近隣学校含めて、調査といたしますか、お問い合わせをしておりますので、はい。わかっております。

委員：事前に要望をしてなかった上での発言で申し訳ないんですけども、前日も指摘したように、その真ん中の薄いブルーの部分が近隣の義務教育学校に非常に似ていて、私は、その学校のジャージだと、見た感じ変わっていないというふうに思ったんです。それで、そもそもデザインっていうのは、もうこの色は確定なんですかね。

委員長：それを、今決めないといけないと思うんですね。

委員：今から間に合うのであれば、ちょっと近隣の学校との差別化というか、区別がはっきりするような形でお願いしたらなと思います。もしかしたら子供たちはその色を望んでいるのかもしれないんですけども、蓋を開けてみて、隣の学校と同じだとかっていうふうになったら嫌なので、その辺ご検討いただけたらなと思います。

委員長：学校名を具体的にお願いします。

委員：みどりのなんですよ。ホームページをご覧いただければわかるかなと思うんですが。

委員長：今、スマホで調べた感じだと、確かにかなり似ているので、ちょっとそこは差別化を図らないと、おっしゃる通り、ちょっと厳しいかなという部分があるので、そこはメーカーさんの方でも一度確認して欲しいなと思います。そうしたら、軌道修正が必要な気がするんですけど。差別化という意味では、今のものをそのまま持ってくると、みどりのものとほぼほぼ似てしまうので、差し色を入れたケースを1つ案として作って、もう1案をもう少し別な案にする形にして、2案の試作品作成をするのがいいのかなと思っています。差し色を入れる案を1案作っていただくとして、もう1案はどういう形にしていけますかね。その辺、少し議論させていただき

ればなと思いますけれども、どうでしょうか。メーカーさんの方もちょっと今の先生の意見を踏まえて、少しご意見あれば、ちょっといただければなと思いますけどもいかがでしょうか。

ママダ：はい、みどりの学園さんはベースが濃紺で切替えがスカイブルーというところで、似ているというご指摘かと思います。今、委員長がおっしゃったように、切替えのスカイブルーを白の切替え、あとパンツの方も切替えがありますので、そこを白をとということでサンプル作りをする。併せて、切替えに白のパイピングを施すとなると、例えばこのラインですね、このラインにパイピングを施すということになるかと思いますが、そちらの方で1点サンプル作りをさせていただいて、このデザインを生かしつつということで、もう1点ということでよろしいでしょうか。

委員長：そこはすぐ決めないんですけど、何かアイデアがあれば、出してもらえればなと思います。

委員：色違いについては同じデザインで良いと思うんですけど、ぱっと見似ているという問題を解決するために、私はデザインを結構弄ってしまってもいいと思っていて、なぜかという、今回のアンケートでは、今と似たようなのがいいですかという話と、それ以外だったら、上下違うのがいいですか、一緒がいいですかという選択肢だったと思うんです。なので、一番大きな、上下の色が違うというのでなければ、デザインはそこからこだわらなくても、私はいいと思います。

委員長：プラン2が似ているという意味では、次のプラン1にするのも1つの案かもしれませんので、どうですかね。プラン1のデザインであれば、差別化は図れるんですかね。他の市内の学校とか見てる感じ、大丈夫ですかね。

委員：学森の今のジャージを活用するという意味では、学森の色合いに似てもいいのかなというのは、個人的な考えです。例えばそのプラン2の色の薄

い青のところ、プラン1の紫を当てるという案を作っていただくことは可能ですか。

ママダ：可能です。

委員：そうしたら、何か色が違うと言われてしまう可能性もあるんですけども、やっぱりその学校指定のジャージを作るという意味を考えたら、ぱっと見たときに、この学校だってわかった方が、我々として指導はしやすいところがあるので、提案させていただきます。

委員長：はい。ありがとうございます。なかなか難しいなと思うんです。そうしたら、プラン2をベースに2案作る形はそのままでいいのかな。そのままがさすがに厳しいという形なのでプラン2を2つ作るとして、1つの案が今のブルーのところの色合いをプラン1の濃い青っていうんですか。それに置き換える案という形を1つ作っていただいて、もう1つの案が、差し色としてさらに白を入れるみたいな形が今までの意見をまとめるとそんなところかなと思うんですけど、どうですかね。はい、お願いします。

委員：そこの学森の方の紺色の差し色を入れる時には、やっぱりそこには白い縁取りがあった方が、やっぱりかっこいい感じになるのかなと思います。

委員長：そうすると実質あれかな。色を濃くして、白の差し色を入れた案1つになってくるとは思いますけども、それと、何かもう1案作りますかね。なんかあまり比較するものがないと、投票という意味ではなかなか難しいですね。単純にプラン1とプラン2のデザイン1つずつ作って、上位2つで投票する形にしてもいいのかなと思いますけども、どうでしょう。プラン2、今のところだけ反映してもらってという形があるかなと思いますけど、どうですか、皆さん。特にここは大丈夫ですかね。そうしたらメーカーさんの方に、プラン2のところのブルーのところを少し濃い色にしてもらって、ラインを入れて作ってもらって、プラン1と2つ試作してもらうような形は、技術的にとかはもう大丈夫ってことでいいんですよ。

ママダ：はい。プラン1というのは、こちらのデザインそのものということでよろしいですか。プラン2について、パイピングは胸の部分、こちらと、あと、この切替えを囲むような形でパイピングを施すということによろしいでしょうか。

委員長：はい。プラン2のパイピングは、今のご提案で皆さん、いいですか。はい、お願いします。

委員：メーカーさんに逆に教えていただきたいんですけど、そのラインを入れるのに、逆におすすめなところ、こういうところに入れたらカッコいいですよというのがありますか。例えば裾でもいいと思いますし、何か、逆に専門の方から教えていただけたらと思います。

ママダ：このデザインでラインを用いる時によくあるのが、肩の部分ですかね。このラグランに沿ってラインを入れるというのがデザイン的には多いです。

委員：そのラグランに沿ってっていうのは、いろんな切替えと、この紺色の切替えのないところにも、ラインを入れるっていう感じなんですか。

ママダ：首のところからここまでですね。

委員長：どうでしょうか、今のメーカーさんのアイデア。個人的には良いなと思いますけども。あと胸のところの下も入れますか。どっちが良いかな。でもオーソドックスなのは肩からだけってことなんですよ。でも大分それで印象が明るくなる気はしますけどね。あとそうですね、線の太さとかなんでしょうね。線の太さは一番右くらいの太さがおすすめですかね。

ママダ：はい。パイピングについては縫い込みの仕方になりますので、こちらのデザインですと、このデザイン1で用いているパイピングになりますでしょうか。

委員長：はい、じゃあ、そんなところで肩のところ、デザイン1の入れ方でよろしいですか、皆さん。ではそれで案を作ってもらって、デザイン2の

今、反映したものを1つと、あとはもう1つデザイン1を復活させて、その2つを試作していただくと。デザイン1は基本的にそのまんまというような形で、2案を作っていただくという形でよろしいですか。ズボンも上に合わせて、デザインを直してもらい形かなと思っていますけども、ズボンのデザイン2の方は縁に白線入るイメージですかね。それともズボンはそのまんまの方がいいとか、どうですかね。ズボンも技術的にはできるけど、やっぱり金額が増えていくって形ですか。

ママダ：はい、その通りです。

委員長：そうすると、結構上下でパイピングを入れると千円近く上がる形になるんですかね。そうすると、デザイン1の方がもしかしたら、コスト的に抑えられたものになっているので、どっちがいいとかっていう話に、もしかしたらなっていくのかもしれないですね。ちょっとその辺は、素材も違うので、一概に今の時点でわかんないと思いますけど。ズボンもパイピングを入れる方向で作ってもらいますでしょうか。肩だけだから、トータルコーディネート的には絶対なくていいのかなと個人的に思いますけど、どうでしょうか。みどりのは何か本当に線の幅が一緒ですが、色を変えれば差別化を図れるのかなと思っていますので、いいですかね。ズボンは色のところを変えてもらうだけにしましょうか。はい。では、ジャージの上下はそんな形で2案作っていただくということで行きましょう。ちょっと細かいところはあるんですけども、Tシャツについては、アンケートの結果はプラン1ということで、白系ですかね、学森に似ているのかな。多分学森に似たやつが回答多かったのかなということで、白系がやはり全体的なニーズは強いのかなということで、白系なのかなというふうに思っています。これも2案作る形でいければいいのかなと思っています、青をベースに色合いを変える形で2案作ればなと思ったんですけども、先ほどのみどりのの例もあるので、今ご提示いただいているのであれば、右側は

みどりのと被るのかな。なので、左の方がいいのかな。どうでしょう。ちょっとこの辺を議論できればなと思いますけども、皆さんご意見いただければと思います。

委員：ジャージのこの差し色に合わせた色でもしできればいいのかなっていう気はするんですけど、そうすると、右側になる。先ほどの話ですと濃い青の差し色を入れて白のパイピングにするっていうことですよ、ジャージに関しては。それであれば、濃い青の差し色をTシャツの方にも反映するっていうのはどうでしょうか。

委員長：はい、ありがとうございます。Tシャツはもうあれですかね、もう2案作らずに、1つでもいく形でよろしいですかね。なんかあんまり差別化のしようもあんまりないなっていう感じなので、もしやるのであれば、「あ」と「い」で改めて、アンケートするくらい。どうでしょうか。特にあんまり、意見がないのであればもう「あ」だけで、もうTシャツはもう決め打ちかなというイメージですけど、どうですか。いいですかね。もう学校側も特にデザイン「あ」、今の左ですかね。一番左のやつで、もう行くという形でよろしいですか、Tシャツはもう決め打ちで。はい。ということで比較はなしで当日それを飾ってもらう形で準備していただく形かなと思っています。あと何点か議論するところあるかと思うんですけども、やっぱりあれですよ。名前は皆さん、この学森みたいにアイロン圧着という形であった方が良くということで、学校の先生方はそんなイメージでしょうか。それはメーカーさんに準備していただける形でよろしいですか。今回のアンケートに必要ないかもしれませんが、はい。名札でしょうか。

ママダ：はい。そちらのご準備は大丈夫です。

委員長：それは基本的に今の学森のイメージのようなものを準備していただくという形にしていただければというのと、あと、学森の例で、背面に学校

の名前が入っているかと思いますが、これもやっぱり入れたいという形でよろしいでしょうか。どうでしょう、その辺ちょっとご意見いただければと思います。

委員：はい。私は、学校名は入れたいですね。

委員長：ありがとうございます。一応、皆さん入れる方向でよろしいですかね。

はい。入れることを前提に進めていければなと思うんですけども、試作品の時には間に合わないと思うんですけども、せっかくアンケートを採るので、どういうデザインで入れていくかをセットでその時に聞けないかなと思っておりまして、ものは作らなくていいんですけども、意見をいただいて、こういった資料に名前を載せたものとか、ご準備いただくことと違ってできるでしょうか。

ママダ：はい。バックプリントというご要望がなされましたけれども、今、仮称で研究学園小学校、中学校という学校名になっております。近隣ですと先ほどお話のみどりの学園が、ローマ字でみどりの学園というふうなパターンになっています。あと他校さんですとジュニアハイスクールですので、結構Jって入れるのが多いんですけども、こちらは小学校、中学校が共通のものを使うということですので、学校名だけのご提案になるかと思いますが、その学校名が長いものですから、例えば、研究学園っていうふうなご提案、もしくは省略して、研学とかそのようなご提示になるかもしれませんがデザインのご提案はできます。はい。

委員長：はい、ありがとうございます。ちょっといくつか案を作っていただければ、色合いとか含めてですね、とは思いますが。ちょっとまだ新設校のことまだ何とも言えないと思うんですけども、略称にしていいのかとか、その辺ってどうですか。正式なものを入れるのがやっぱりいいとか、その辺でちょっとコメントあればいただければなと思います。略称でもいいのかなというところはありますけれども、教育的にとか、何かあればなという

感じで思いますけど、いかがでしょうか。

委員：新しい学校になると、つくば市内の近隣学校であれば、研学で研究学園かなっていう認知はされるかと思うんですけど、これが、市外に出た時とか、そういったときに、研学ってなんだっていう、なかなか認知されづらいのかなって最初はあるので、そのところはちょっと難しいところではあるんですが、きちんと学校名が入っていた方がいいのかなっていう気は個人的にはします。

委員長：はい、ありがとうございます。入れてアンケートしちゃうと、そっちに偏ってしまうところもあるので、やっぱりそういう意味でフルネームにさせていただくのが最低条件かなという部分もありますので、その中で出来る提案をいくつか出していただければなと思いますけども、そんな形をお願いして、絞り込みなりをして、アンケートに臨むという形でいければなと思いますけども、皆さんそんな進め方で大丈夫ですか。そんな形で、メーカーさんから提案をしてもらってよろしいですか。

ママダ：バックプリントのご提案のみということでよろしいでしょうか。

委員長：そうですね。どちらか2つ作ってもらいますけども、そのうちのどちらかのデザインでいいので、バックプリントがどういうふうにするか、色合いとか、文字の形、配置のがいくつかあれば、それを2案選ぶアンケートと一緒に聞いてみて、意向の多いところで決定できるといいかなと思っていまして、このお手伝いをさせていただけるとありがたいです。大丈夫ですか。

ママダ：近隣の学校さんの方で、バックプリントを施しているところ、中学校さんが特に多いんですけども、また胸のところ、校章であったり、学校名を入れたりっていうところもございます。現状、今回に関しましてのデザイン案というのはそのプリントのご提案ということでよろしいですか。

委員長：はい。バックプリントで大丈夫です。前は先ほどおっしゃったように

ネームプレートを入れるって話になったかと思うので、前面はネームプレートということで、バックプリントで学校名のデザインをいくつかということをお願いできればと思います。

ママダ：はい、かしこまりました。

委員長：他、皆さん通して何か意見とかありますでしょうか。一応これで決めることは一通り決めたつもりなんですが、事務局の皆さん、何か漏れとかありますでしょうか。大丈夫でしょうか。

事務局：いえ、事務局としては大丈夫です。はい、ありがとうございます。これで一通り試作の方向性が決まったと思いますけども、最後、メーカーさんの方から何か確認しておくことがあればお願いします。

ママダ：はい。再確認をさせていただきます。こちらのデザイン案の差し色をこちらの色ですね、こちらの色を差し込み、上下切り替えるということで、なおかつパイピングをこの肩からのサイドの部分に両方出るということで、1つ目のプランはそちらの方で、もう1つはこちらのデザイン1そのものということで、長袖に関してはよろしいでしょうか。

委員長：はい。それで大丈夫です。皆さんも大丈夫ですか。はい。今の2つのデザインで機能がプラン1の機能で、お願いできればなというところ。あと1点決めておいたほうがいいなと思うところを忘れていまして、メーカーさん、ファイテンさんっていう名前が入るとか入らないかとか、何か以前にあったかと思うんですけども、今のは入っているんですけど。

ママダ：はい、デザイン2ですね、それに関してはファイテンのマークが入っております。デザイン1も2もファイテンのブランドになりますけども、ブランド名は入っております。

委員長：以前も何か少し議論したイメージあるんですが、それを外すと500円とか何か下がるようなお話だったと思うんですが、その辺皆さんどうですか、残した方がいいのかとかいかがでしょうか。後ろの首ら辺に入ってい

て、それが何か反射素材になっているとかでしたっけ。

ママダ：ファイテンの磁気のもの、よくアスリートの方が使われているんですけど、そのファイテンの磁気のもがここに抜い込まれております。こちらも同様ですね。

委員長：どうしますか。多分、残すか、無くして 500 円下げるかっていうところで、選択肢としてはあるというお話を以前おっしゃっていたような気がするんですが、そのままいくって形で、皆さん大丈夫ですか。それとも外してもらおう。前に 500 円とおっしゃっていたような気がしたんですけど、いかがでしたっけ。

ママダ：はい。その中に入っている折り込みとファイテンをブランド名を消すということで単価下がるというお話をさせていただきました。ただ、先ほど申し上げましたが、企画の者が生憎欠席しておりますので、このデザインの中でそのファイテンを外して、サンプル提案できるかどうかというのは、持ち帰らせていただいて、後でご回答ということをしていただくこととなります。

委員長：はい、わかりました。例えばですけど、9月のアンケートの時は今のままで行っていただいて、そこもニーズ把握みたいなのをして、要望が多かったら残す、価格をもっと重視したいというニーズが強かったら最終的には外すっていう形は採れますか。

ママダ：はい。ファイテンのブランド名を外して、このデザインのものを作成するということが可能なのであれば、それはできます。

委員長：わかりました。じゃあ試作品は今のままで作っていただいて、実際にアンケートを採って、外せることができるのであれば外すっていう形の選択肢も、9月のアンケートの結果を踏まえたこの中で決められればとは思っていますので、そんなやり方でよろしいですかね。特に異論はなさそうなので、試作品は今の形でご提案させていただければと思います。ちょっと 9

月のアンケートを少し考えていけないといけないんですけど、それはこれからまだ調整できると思いますので、その点はまた詰めさせていただければと思います。他、いかがでしょうか。メーカーさん大丈夫でしょうか。

ママダ：はい。デザインのこのファスナーはどういたしますか。

委員長：ファスナーはそのままで大丈夫ですか。そのままというか色合いは流石に合わせないといけないと思いますけども、他の色を変えるところと。ファスナーだけ今のままっていうのもおかしな気がするので、他のところと合わせていただくのがいいかなと思いますけど、難しかったりしますか。

ママダ：近い色のファスナーということであれば、使用することは可能かと思っています。

委員長：はい。そこは何か統一感があつた方がいいような気がするので、ちょっとそこはうまいこと近いものを採用していただければと思います。何か難しいっていうのであれば、何か代案を提示いただければその中から選びますので、その辺も持ち帰って、回答いただければそれで結構ですのでよろしくをお願いします。

ママダ：ちょっと企画の相談させていただいて、はい。改めてご提案させていただければと思います。

委員長：他は大丈夫でしょうか。では方向性は出たと思いますので、体操服の協議はこれで終わりたいと思います。事務局にお渡しします。

事務局：はい、委員長ありがとうございました。また体操服メーカーの皆様、ありがとうございました。ここで体操服の議論の方は終わらせていただきたいと思います。お時間を経て、制服の方に入っていきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。続きまして、制服のメーカーさんと打ち合わせをさせていただきたいと思います。委員長、よろしくお願ひいたします。

委員長：メーカーの皆さん、今日はご足労いただきましてありがとうございます。

す。こちらの要望に対して、色々ご提案いただきまして、本当に感謝しております。引き続きよろしく願いいたします。どうぞお座りください。はい、じゃあ議論の前にちょっとアンケートの結果、ニーズの調査を学校の方でさせてもらいましたので、ここの説明だけ、簡単にお願ひできますでしょうか。

事務局：はい、事務局です。右上に資料2と書かれましたものをお手元にご用意をお願いいたします。こちらにも制服のアンケートを学園の森義務教育学校の児童生徒、保護者を対象にさせていただいております。こちらにも事前にメーカーさんの方に共有させていただいております、内容の方を簡単にご説明させていただきます。回答者数につきましては記載の通りでございます、回答結果につきましてはプラン1からプラン7のところ、2つを選んでいただいた形になります。その中で全量というところでは、プラン3のところは児童生徒、保護者ともに一番票を集めております。若干、児童生徒の方はプラン5、逆に保護者さんの方ではプラン2のところですね、プラン3に次いで人気が高かったというところがございます。全量の下の方の新設校予定通学区域在住者のみというところにつきましては、新しい研究学園小・中学校に通う通学区域の方にお住まいの方の投票結果の方を抽出したものになります。こちらの方も一応全量と同様にプラン3のところは児童生徒、保護者ともに、一番票を集めているところにはなりますが、ここでもやはり児童生徒さんの方はプラン5の方選ばれている方が多くて、この保護者さんについてはプラン4について、プラン3に次いで人気があったという結果でございます。以上になります。

委員長：はい、ありがとうございます。そうですね。この辺を踏まえながら、試作品を2つか、もしくは3つ作って、実際に9月に投票的なアンケートができればと考えております。その3つを今日決めさせていただければなどと思っておりますけども、まずデザインですが、今日は上位3つを持つ

てきていただいたイメージですか。折角ですので、簡単に紹介していただければと思います。

明石：はい。よろしくお願いします。今回選んでいただいた中でプラン2が、後でA、B、Cまた説明します。とりあえず上のA、B、Cは無視していただいて、ボトムを中心に見ていただきたいんですけど、プラン2の方が、皆さんから向かって左側のものになります。特に特徴的なのがスカートのボーダーラインのところですね。ここが複数のブルームが入ったやつで、エンブレムと合わせるっていうところもあったんですけど、スーツ系のちょっとおとなしめな、品のある感じというものがプラン2になっています。後でまた皆さん前に来てご覧いただきたいんですけど、2のスカートは親子ひだといいまして、細いひだと太いひだが交互に入っているんですね。これで、研究学園小・中の調和というか、そういったイメージのスカートにしてあります。この真ん中のものがプラン3ですね。これは特にグレーベースの色にブルーのライン。ラインの感じは、学森さんが一番向こうなんですけど、そこにもちょっと似たような感じでイメージを残しつつ、グレーベースのエンブレムの色にも合わせるブルーという、そんなイメージのものです。生徒票が多かったのがこちらで、襟元ですね。一番はボトムのズボンとスカートっていうのは基本的な無地のグレーの、ちょっとシンプルなチェックという感じになります。逆に言うところのこちらのデザインは、襟元で色んな表現ができるっていうところで、選びやすいというのはあるかもしれません。

委員長：はい、ということで今回3プランをお持ちまして、学園の森さんとの比較の中でどれか、できれば2つぐらいの方が、投票も迷わないのかなと思うんですけど、その辺を検討いただければと思います。

明石：A、B、C っけて付けているんですけど、これはジャケットの素材で、前にお見積もりを出させていただいたんですけど、まずAがタスマニアウール

を使ったストレッチ性のある防皺素材ということで、今の学森さんの生地
に比べると、ウォッシュャブルとかストレッチというのはあるんですけど、
そのストレッチが特に強くて、風合いが良いという感じになります。次に
B ですね。この B の素材はぱっと見一緒なんですけど、これは学森さんの
ものと大体コスト的には同じぐらいで、プレゼンの時に実験あったのを覚
えていますでしょうか。水鉄砲を使ったやつです。はい。あれと消臭機能
が付いた素材になります。強いてのウール 30 の比較的成本が抑えめのも
ので、これはウォッシュャブル。ストレッチを比べちゃうと A が一番あるか
なという感じなんですけど、価格、コストパフォーマンスに優れた素材。
そういった形になります。今日はできればボトムは 2 種類でジャケットの
方はもし、皆さんのご意見があればなんですけどどれか 1 種類に選んでい
ただけると助かります。現実的な話になっちゃうんですけども、生地を発
注しなければいけないタイミングがもうそろそろですので、できればジャ
ケットが一番大変なものですから、ジャケットはできれば決めていただ
いたら嬉しいなと思っております。やっぱりデザインのポイントとしては襟
元なんですけど、今日、ネクタイ、リボンを結構な数を持ってきました。
委員の皆さん、どんどん前に出てきていただいて、この辺どうかなって
いうのを皆さんで話し合いながら 3 パターン作れたら、3 パターンから 2 パ
ターンを作れたら嬉しいなと思います。あとエンブレムを作ってきました。
実際に胸につくようなエンブレムなんですけど、回していただくと助か
ります。今回、デザイン自体はエンブレムが付くっていうのを前提に、ピ
ックアップをさせていただきましたので、そのエンブレムを実際これにつ
けて、両面テープが貼ってありますので、付けてみながら、全体のデザ
インとネクタイ、リボンとどうやって合わせようかなというのを検討いただ
ければと思います。はい。ちょっと駆け足でしゃべっちゃったんですけど、
今、お手元にエンブレムをそれぞれお渡しさせていただいたんですけど、

これと、要は制服の色とどこまで合わせるかっていうところで、特にこの学園の森さんのものを作った時もそうだったんですけど、忠実なものを付けてしまうと、結構前に出てきちゃうんですね。そうするともうエンブレムだけが目立つデザインなっちゃうので、色は結構落とした感じにしています。これ以上目立つと、やっぱりちょっと何か浮いている感じになってしまいますので、そこだけ注意して作ってみました。はい。じゃあそれも踏まえてなんですけど、検討をお願いできればと思います。

委員長：はい。説明ありがとうございます。ここの A、B、C の表記はこの素材単価価格表のこの資料と考えていいですか。

明石：その通りです。

委員長：はい、わかりました。50 分くらいまで、前に皆さん行っていただいて、触ってみてもらって、メーカーさんとの意見交換してもらえればと思います。

明石：はい。特にジャケットの素材ですね、実際に触ってみてください。A、B、C それぞれで違いますので、価格とその機能とその辺を比べながら触ってみてください。

委員長：はい。色々メーカーさん準備いただきまして、非常にありがとうございます。非常にすてきなデザインが多くて、感謝しているところですけども、なかなかそのせいか、逆に決めにくくなっているんですが、やっぱり試作品のアンケートをするには決めないといけないので少し議論させていただければなと思っているところですけども、さっきお話あった通り、ブレザーは1つにしたいということですよ。

明石：1つにさせていただけると助かります。基本的に色はもうほとんど一緒なので、例えば、このグレーにブルーのラインとこっちで、ジャケットは B とか B でこの 2 パターンとかっていうふうにしていただけると嬉しいです。

委員長：試作品を作るのは2つかもしくは3つっていうことで、ブレザーは、すべて統一で、ズボンを3つにする形でもいいですか。

明石：大丈夫です。はい。

委員長：なるほど。そうすると、まずブレザーのデザインを1つ絞り込む議論ができればと思いますが、皆さんいかがでしょうか。デザインというかもいう生地もですね。まず生地を決めた方がいいのかな。

明石：そうですね。多分お手元の資料の中のA、B、Cそれぞれの特徴と価格があるんですけど、デザインはちょっとごめんなさい説明不足で大変恐縮だったんですけど、このCにあるようなポケットがこのように水平になっているのもあれば、このAの素材はポケットが斜めに下がっているんですね。ポケットが斜めか水平かで、下がっている方が比較的すっきり見えるというのがあります。あと人間の手というのはどうしてもポケットに手を入れようと思ったら、後から入るので、まっすぐじゃなくて、斜めに入る。それが、下がるかというとなんかにならないんですけど。一応人間工学的な話で、そういったデザインとその特徴もあります。その辺は生地を選んでから、例えば、Aでポケットは斜めにして、というようなそういったデザインの変更でも大丈夫です。

委員長：はい。ご説明ありがとうございます。生地をまず決めていければなどというところですけども、何となくCとそれ以外の違いはわかるんですけど、機能の違いをもう少し説明していただいてよろしいですか。

明石：はい。まずAはタスマニアウールを使っているというのが一番の特徴で、触った時の風合いは多分もう皆さん感じられたかなと思うんですけど、一番柔らかくて、触り心地が良いというのがAですね。ストレッチが効いているというところが1つあります。逆にB。逆ってわけではないんですけど、Bの方はシャワーで洗えるとか学校の水道水でちょっとした汚れは取れますよっていうことと、あと消臭ですね。臭いを消す作用があるって

うのが、はい。そこの違いがあります。風合いがいいか、消臭とかその機能性に長けているかというようなそういったところです。基本的には全部洗えますので、そこはご心配いりません。

委員長：はい、ありがとうございました。感覚的ですけど、もし身長があまり大きく変わらなければ、3年間着続けるぐらいの耐久性はどちらももちろんありますよね。

明石：はい。もう実績のある生地なので、そこは問題ないです。

委員長：はい。というところが大きな特徴ですけども、そういったお話すると、AかBかどちらかみたいな話にはなってきますけども結構実は値段が1,500円くらいそうですね。CとA、Bで違うんですが、ここも踏まえてどの辺がいいとか少し皆さんからコメントいただければなと思いますけども、どうでしょうか。

明石：一応価格の条件は学森さんと同じ条件になっています。エンブレムが付いていて、袖のボタンが逆に付いていないという条件です。今回はサンプルなので例えばAに袖ボタンは付いてはいるんですけど、実際はエンブレムとその袖ボタンなしのスペックで試算をしております。

委員長：はい、ありがとうございます。何か学森より色々増えているのに価格がCだと安くなっていますが。

明石：混率ですね、学森さんはウール50ですので、やっぱりA、Bと近い金額なんですけど、ウールの混率の差でCは多少コストメリットがあるということなんです。

委員長：あとは数年経った後の技術改良とか、そんなところもすべてされたところでしょうか。それはさておき、いかがでしょうか、ちょっと皆さんから何点か意見とかいただければと思いますけども、どうでしょうか。先ほど皆さんのリアクション見ていると、Aが良さそうな感じの声が多いかなというふうに私は聞いていたんですけども、どうでしょうか。はい、お願い

します。

委員：はい。触った感じとか、全部触って、そのトータル的に A がいいなと個人的には思いました。ただやっぱりコストのところも一番高いので、エンブレムをなしにして、A にしたらいいかなと私は思いました。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。あとエンブレムに関してはどうでしょうか。学校側として必須なのか、外してもいいか、その辺いかがでしょうか。コメントがあれば、いただければなと思いますが、どうでしょうか。

委員：あった方がいいなというふうに感じます。

委員長：はい、ありがとうございます。ちょっと価格面はなかなか難しいと思うんですけども、なかなか差を設けて、アンケートするのも難しいところがあるので、500 円ではあるんですが学校側のニーズも加味して、基本は A なのかなといったところで、考えておりますけども、皆さん、他がいいとか、その辺含めてコメントあればと思いますけども、どうでしょうか。はい、お願いします。

委員：今のエンブレムの件なんですけど、紫峰学園に知人のお子さんがいて、エンブレムが付いていないということで、どうなのかと聞きましたところ、先日、京都に修学旅行に行ったと時にとってもかわいいと周りの人から言われたということで、エンブレムがなくても、例えば水海道一高さんはネクタイに入っていたりするので、そういった場合は今回、リボン、ネクタイは購入していただく方向なのでそちらに何か施せるのでしょうか。

明石：それは大丈夫です。

委員：でしたら、例えば学校側としたらエンブレムは欲しいけれど、私たちの要望としてはなくてもいいかなということで、どちらか取るというかネクタイの方に、そういう形を施していただくのも 1 つかなというふうに思います。はい。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。どうしましょかね。エンブレムを付

ける、付けないとかは、多分ここで決断しなくてもいい気はするんですが、試作品はとりあえず付けてもらっていいのかなと思っていますが、最後そこで絞り込んだ後で、最終的に付ける、付けないとかは、また決めればいいのかと思っていますけど、実際に最近の制服作っている中で、どのくらいの割合で付けているか、付けてないとか、もしメーカーさんの感覚的なものがあれば少し教えていただければと思いますけどもどうでしょうか。

明石：半々ですかね。やっぱり、その学校さんの考えとか、立ち上げた時の委員会のメンバーさんの考えで、やっぱり全然違ったりはします。傾向としては例えば私たちがお世話になっている並木中等さんと茗溪学園さんは付いてないですね。海一、土浦一高とか下妻一高も付いてない。あと刺繍がワンポイントで入っていたりとか、おとなしめっていうイメージがすごく強いです。ただ、学校として、例えば似たような制服が集まった時に、ぱっと見てわかるのは当然エンブレムがあった方が、わかりやすいなんていうのはあります。校章のこのデザインというのが結構独特なんですね。ボタンの中に校章のデザイン入れるっていうのもあるんですけど、この小ささなので、デフォルメされたり、忠実に再現というのは難しい面はあります。例えばこの中の鳥のマークをこっちに刺繍とかマークで付けたりとかがそういったところで、部分的に残すとか、先ほどネクタイとかリボンに施すというのでもいいのかなと思います。

委員長：はい、ありがとうございます。先生たちこの辺は、例えば試作品を作ったところでまた生徒とか、保護者にアンケートを採って、そこで出てきたニーズで決めるとかっていうのはありますか。

委員：それも1つの方法だと思います。

委員長：じゃあ、絶対付けないといけないってわけではなさそうな感じだと思いましたが、とりあえず試作品は付けてもらって、アンケートで外すの

は簡単だと思うので、そこで意向を聞いて、最終的にその形でいければな
と思っています。逆に付けない形で、ネクタイにワンポイント入れて欲しい
とかいった要望がもしあったら、期限とカリミットはありますか。

明石：できれば9月中だと助かります。

委員長：はい、わかりました。アンケートで出てきた結果を踏まえて、9月の
会議で決めれば間に合うという感じですかね。

明石：もしエンブレム付ける、付けないの2択ということであれば、例えばそ
のボトムのデザインは2パターンに絞って、片方には付けて、片方には付
けないとか、そういったのでもいかがかなと思うんですけど、どうでしょ
う。エンブレムを両方付けるというよりかは、片方は付けて片方は付けて
ないとか、そういったものでエンブレムが付いたイメージと、付いてない
イメージというのを持たせても、アンケートとしてはやりやすいのかなと
思うんですけど。

委員長：そうですね。ものが違っても、付けたもの、付けてないものというこ
とですよね。それは1つのアイデアですね。はい。

委員：エンブレムを付けたサンプルを付けるのはいいと思うんですけど、そ
の時にはエンブレムを付けることでいくらの価格のアップになるのかって
ことは確実に明示すべきだと思います。そうじゃないと、そのワッペンを
付けるのが今のところ、管理上の要請だということなので、そのことの
ために投資をしますか、子供自身の着やすさのために投資しますかという
のは、各家庭で判断したいことだと思うので、私はそこは明示して欲しい
と思う。そのエンブレムの有無について個人的な意見を申し上げますと、私
は要らないと思っています。なぜかという価値が張る部分に、その学校の
独自性を表現するところに、価値の張るものにそれをすると、これじゃない
方がいいと思う人たちの心理的障壁を上げるので、さっきメーカーさんが
ご提案あったように、ネクタイとか、割と安価なもので差別化すべきだと

私は思う。

委員長：はい、ありがとうございます。アンケートは我々で考えて決めていければなということで、とりあえずは付けるか付けないかはありますけども、そんな形だと思っていますが、素材に関しては基本的にはAでいくという形で、皆さんよろしいですかね。頷いてらっしゃるのでジャケットの素材はAということで対応させていただいて、あとジャケットのデザイン。ちょっとした違いなのかもしれませんが、メーカーさんからの説明では、Aのところのデザインなのかなという感じはちょっと聞いていて思ったんですが、皆様この辺はいかがでしょうか。私も賛成ではあるんですが、皆さんいかがでしょうか。大丈夫ですかね。なるほど、シングル2つボタンの、ポケットがこう斜めの形ということで、一応念のため、試作を作る前に確認なんですけど、エンブレムの有り無しはとりあえず置いておいてということではあるんですが、袖ボタンはなくていいですよ。そもそも袖ボタンがある意味があんまりわかってないんですけど、何であるんですか。

明石：デザインです。

委員長：デザインだけなんですか。

明石：中学生の場合だとやっぱり結構男の子の体が小さくても、大き目を買ったりするので、それをご家庭で詰めたり、折ったりするんですけど、やっぱりボタンがあるとずらさなきゃいけないので、お裁縫しなきゃいけないのが結構面倒なんで、最近は高校でも中学でも、外してくれというのがすごく多いんですね。もう昔からの学生服のデザインの1つとしてボタンが付いているんですけど、こだわる学校さんはこだわるんですけど、まあなくていいですよ。

委員長：ということを知ると、なくていいのかなというふうに思いますが、よろしいですかね。皆さん頷いているのでなしでいきましょう。

明石：承知しました。あと襟の形とかも含めて、今こういう学森さんと同じパ

ターンにはしているんですけど、ここも変更とかは特にいらないですかね。

委員長： 違いを出すとしては何かあるんですか。

明石： またお金の話になっちゃうんですけど、サンプルでこの襟元を見ていただきたいんですけど、またお時間ある時に近くでも見てもらいたいんですけどラインが入っています。例えばこういうところに、イメージカラーのブルーを入れたりとかっていうのも、そういったこともできるのはできるんですけど、とりあえず今はプレーンなジャケットの状態での比較にはなっていますが、そのまま進めさせてよろしいですか。

委員長： そうですね値段も上がるということでもあって、シンプルな方が良い気がします。標準服という形で、必須ではないのであまり特徴があり過ぎると良くないので。はい、よろしいですか、皆さん。ではこの形で進めさせていただきます。ジャケットは1案決まったので、あとあれですかね。スラックス系で2案、3案を作っていくという形ですかね。スラックス、ズボンは、素材はすべて同じになる。

明石： そうですね。ウール30の、ご家庭でも洗える素材にはなっています。スラックスもスカートも全部ですね。はい。

委員長： となるともうデザインだけで決めるという形でしょうか。そしたらどうでしょう、今、ご提示していただいている3案かもしくは2案くらいかなど。2案の方がいいのかなということでは票が多かったの言え、この真ん中のやつと、あとは通学区域の生徒児童さんの意見だとこれも多かったんですね。そのボトムの方がさっぱりした感じのデザイン。

明石： ちょっとボトムで引きずられてそこなのかがなんとも言えないんですけども。

委員長： そうですね、襟元の印象もかなりあったと思うんですけども。そういう意味ではチェック柄系か、シンプル系かという意味では、そこにあるAとCら辺がいいのかなという感じではありますけども、どうですかね、3

案作るのは大変なんでしょうか。

明石：はい。できれば2案が良いということで。

委員：B案って、女の子、スラックスとスカートは共布、同じ生地だと思うんですけど、それって価格に響いてきますか。

明石：大きくは変わらないです。

委員：ありがとうございます。

委員長：2案ですと、やっぱりトータル票数多いので、選ぶのが一番無難かなということで、AとCかな。こちらは皆さんよろしいですか。はい。

委員：質問です。スラックスは女性も男性も形は同じですか。

明石：違います。同じにすることもできるんですけど、基本的にその女性用と男性用って特に中高生の体形が全然変わってきてしまうので、一応女子用スラックス、男子用スラックスというイメージはなるんですけどそういった設定が一般的です。学森さんも男子用と女子用は別に管理しています。管理というか、品番を取って、供給させていただいております。

委員：わかりました。はい、ありがとうございます。

明石：女子用のパンツは基本男子とも同じ生地で作るのが一般的なので、そういった対策でいいかなと思うんですけど。

委員長：はい。作るのはそのAとCで良いと思うんですけども、女子用スラックスは試作品の段階ではお作りいただけるんですか。多分ちょっとイメージが男子用のものと違うのであれば、同じですか。

明石：水海道一高のプレゼンの時のものをご覧になっていると思いますが、あんなイメージです。その場で作ってもらうか、作ってもらわないかだけなんですけどもあった方がいいのであれば相談という感じで。

委員：女子用のスラックスについては、その形がいいからスラックスを選ぶわけじゃなくて、スタートを忌避するためにあるんだと思うんです。なので、デザインは見せなくてもいいと思います。

委員長：そうですね。おっしゃる通りかもしれないです。そういう比較というよりは、どういうものかを知ってもらうという意味ではいいのかなと思ったので話ただけなんで、多分、そういう意味でちょっと聞いたんですけども、作るのは大変ですか。

明石：はい。例えばちょっと柄は違っても、女子用のズボンってこんなんですよということで、その展示してる近くに吊るしておくとかそういうのもアピールができれば問題ないかなと思うんですけど。

委員長：その辺はぜひやってもらえると、多分、存在を知らない人は結構いると思うんですよ。あまりそこまでケアするのは大変だと思うので、そうしてしまいましょう。

明石：では、こちらの2案を中心にサンプルを作成させていただきます。

委員長：あとはネクタイですよね。ご提案のままていくのか、何案か組み合わせせて見てもらうのかっていうところはあるのかもしれないけれども、どうでしょうかね皆さん。

明石：例えばこちら側のやつから1個ずつ作りますか、合わせてみて、有り無しで言っていたとか。

委員長：このネクタイって市販品ですか。

明石：市販品ではないです。スクール用にいろんな生地を起こすんですけど、その中から今回合うかなと思われるものをたくさん持ってきました。

委員長：市販では売ってないんですね。まずそもそもの色は青系でいくのかっていったところとか、どうですかね皆さん。やっぱり赤系が一般的には華やかに見えるので、子供とかもしかしたらアンケートの結果がそこに左右されている可能性もあるなと思っていて、例えば今、ご提示してる場所に赤を入れたりするとデザインの違和感があったりするものですか。

明石：よくネクタイ、リボンのデザインの作り方で私たちも注意しているのは

ボトムの色ですね。エンブレムを付ける、付けないはとりあえず置いての話になるんですけど、ボトムの色と襟元を強調させるとデザインは作りやすいんですね。ですので、例えばそちら側のデザインだと、ベースがグレーですのでネクタイをグレーベース。男子の方でまとめやすいという感じはあります。はい。逆にこちらだと紺ベースだったりというのもあるんですけど、ちょっとこの辺、例えばもうブルーで行くんだったらブルーをもう根本的にベースにするという方法もあります。なので、ボトムの色と合わせていくと、まとまりやすい。例えば、こういう緑系を持ってくと若干違和感が出るかなというのがあります。

委員長：デザインの資料、ご提案いただいた時にその左側のは何かちょっと緑系だったような気がしますが、変えた理由とかはありますか。

明石：実は下の色と、あとエンブレムを作るていで、ブルー系をピックアップさせていただきました。

委員長：逆に、例えば今のどちらでもいいんですけど、赤系を置いてみたらどんな感じなのかとか、ちょっと皆さんに一度見せてもらってもよろしいですか。

明石：男子のズボンのスタイルはブルーが入っていても無地に見えてしまうので、そんなに違和感はないんですけど、女子の方ですかね、ちょっと襟元が浮いちゃうっていうのは感じられるかもしれないです。なので学森さんのをご覧いただきたいんですけど、スカートの配色とリボンの配色っていうのを合わせると結構まとまってくる。そんなイメージです。

委員長：はい、ありがとうございます。確かに、次点で多かったプラン5とかだと、トータルコーディネートでやっぱり良くて赤も目立っていたのかなっていうのは、これを見て何かよく分かるなと思った次第で、確かに今、右だとバランス悪いですよ。Aのところの赤だったらまだいいのかな。こっちはまだ、スカートにもブルーのラインは入ってはいるんですけど、

そんなに目立たないので。皆さんどうでしょうか。青の方が何となくトータル的に良い気がする私はもう感じましたけど、ちょっと先入観もあって、そういうふうになっているのかもしれないですけど。組み合わせで、少し気づいた点とかあれば、ご意見いただければなと思いますが、どうですか。特にないのであればやっぱり、下と合わせて青系がやっぱり何か非常にバランス取れていいのかなと、さすがメーカーさんのコーディネート力だなと改めて感じた次第ですけど。

明石：恐れ入ります。

委員長：後どうしましょうかね、アンケートは試作を作ってもらった時に付けるものをどれにするかっていうと、やっぱりご提案いただいたものをそのまま付けていく形でいきますか。どうでしょうか。

明石：もし、よろしければ、例えばちょっと私たちの方でこんなどうかなっていうのをもう1回付けてみてというのでどうでしょうか。多分8月の末にまた最終の確認するタイミングがあると思いますので。その時にまたちょっと違うものを持ってきてみて、合わせてというのでもいいかなと思うんですけど。

委員長：はい。基本はブルー系がいいのかなというふうに思っておりますけども、何かほかに余地があるのであれば、ぜひ提案いただければと思いますけど。

明石：逆にこれはないっていうのを教えていただきたいんですけど。

委員長：緑系はちょっと合ってなかったのかなというふうに提案資料の時には思ったので、やっぱり一番青系で良いかなと思いますけどね。どうですか皆さん。はい、お願いします。

委員：これも好みなんですけど、私も青系が本当にいいなと思っていて、品がある感じがすごくいいなと思うのでそういう、品のある感じとか、そういう、こんな印象がいいなっていうのがあれば、ぜひ皆さんお願いします。

委員：ネクタイにその校章みたいなのを入れるとしたら、サンプルとして作るのは難しいでしょうか。

明石：そうですね1ヶ月後なので、例えば、今ちょっとこちらにつけている、結構無地っぽく見えるもののリボンの剣先にこの鳥のマークを付けてくださいとかっていうのを今時点で言うていただければ、可能と言えれば可能です。

委員：例えばそれはポイントにするのか、先ほどのちょっと品のある感じのリボンがありますよね。男性にはないタイプのもの。ああいう感じで校章を入れたりというのもできるんですか。

明石：できます。はい。いわゆるレジメンタルのデザインというのは、ワンポイント入れると結構ガチャガチャするんですね。ですので比較的、ワンポイント入れる場合は無地っぽいものに入れた方が、アピールというか、印象は出しやすいです。例えば学森さんのやつは、ちょっとよく見ないとあれなんですけど、クレストっていう月桂樹とワンポイントのマークが入っていたり、そういったところでアピールするっていうものもあります。はい。これを例えば、仮になんですけど研究学園のKGみたいな感じのロゴを付けるというやり方もあります。

委員：それもいいですよ。研究学園って全部入れちゃうと大変なんで、KGがいい感じに入っていたら、学森さんもそうやってぱっと見は遠目からは分からないけども、よく見るとっていう形で、例えばエンブレムなしの方向でいった場合にそういうKGっていうのが入っていたら、やはりあそこねっという感じで分かりやすくなるのかなっていうふうに思うので、もし、作っていただければ、どうですかね。

明石：そうですねアンケートの時は基本的にはボトムをどっちに選ぶかっていうのがメインになっているんですね。次回の8月末ぐらいの委員会の時にはCGで、こういうデザインができますよっていうのを提案させていただい

て、決まってからそれにいくっていうのもよろしいでしょうか。作るには時間がないので。

委員長：私たちも専門ではないのでちょっとお任せして、はい、そういう方向でも、お願いしたいなと思います。

明石：KG がいいですか。

委員長：やるなら KG ですかね。はい、お願いします。

委員：A にかかっているリボンの2つは大きさが一緒なんですか。

明石：違います。すごい小さく見えるんですけど、でも何か大きさは学森よりちょっと大きめの方が合うんじゃないかなっていう感じがします。ここはどうでしょう、皆さん。大体、大きさがこの2パターンなんです。高校の場合は大きい方を付けるパターンが多いんです。体が大きいから。要は小学校6年生から小さい子がこれ大きい方を付けると結構大きく感じたりするんですね。なので中学校だと、学森さんはあれを採用しているんですけど、こっちの小さい方を選ぶパターンも結構多いです。

委員長：はい。ありがとうございます。ちょっと方向性だけ決めた方が、メーカーさんもいいのかなと思うので方向性ということで青系は合意取れたと思うんですが、大きさはどっちがいいのかということと、あと無地か柄が入っているとかその辺、ぱっと見はそのAのところを最初付いていたさっきの比較用のところの方が華やかな気がしますけども、どうでしょうかね。はい、お願いします。

委員：自分で言うとおいてあれなんですけど、エンブレムを付けないと外から見るときに学森の子だって分かりにくい。だったら、それ以外に差別化できる方法って、ネクタイとリボンだと思うんですけど、ただ、ネクタイとリボンに小さく校章ついているだけでは結局分からないっていう問題は解決できなくて、その点何かご意見をお聞きしたいです。

委員：先ほどジャージの時にも、近隣の学校と近いというお話があったんです

けど、割とこの辺のリボンはみどりのさんとか、秀峰なんかも青っぽくて線が入っているあたりは似てくるのかなと思います。さっき品がある感じて女子のはみどりのさんに近いのかなと思って、エンブレムがないのであれば、やっぱりある程度、その近隣とぱっと見が、似てくるのであれば、ちょっとどうなのかなっていうのは感じたところです。

明石：そこで言うとなんですけど、ネクタイ、リボンだけの差別化というのは、冬服の時はいいんですけど、夏はそもそも着用しませんので、はい、そういうことになります。なので、おすすめて言い方は大変恐縮なんですけど、例えばこういう、無地っぽいものの、この剣先にマークを付けるとか、そういったものだと、冬服でも遠目に見て研究学園の子だなというのがエンブレムがなくてもわかりやすいかなと思います。

委員長：そうですね。そもそもジャケットを着ない時は、何をもって違いなのかと言われたら誰も回答できない。なんでジャケットだけ付けるんだって言われたら、これも回答できないんですよ。そう考えたときに、必須なのかとなると、アンケートでエンブレムを付けるか、付けないか、いわゆるその辺の必要性みたいのが出てくると思うので、そこでニーズが低いのであれば、議論にも入れる必要はないのかなというところは当然あるので、その辺はちょっと意向を伺いながらと思うんですけども、そうですね何か候補は今の良いとは思いますが、何かご提案できる余地があれば、差別化という視点で少しご提案いただけますでしょうか。

明石：ネクタイ、リボンに限らずってことでよろしいですか。

委員長：ネクタイ、リボンだけでお願いします。制服が似たようなところってあるんですか。

明石：今のAかCかっていったところですけど。私たちは、普段制服をこうやって作ったり、企画したりしているので違うって言えるんですけど、こっちを最初見たときに春日に似るかなというのはちょっと思いました。

委員長：そうですね、ぱっと見ですけど結構グリーンなのが、学森に入っているだけで、それ以外を考えれば、なんか学森とCは似ているような気がするのですが、そういう意味ではAとかは私の感覚ではあまり見かけない気がするのですが、それを採用するだけで差別化を図っていたりするような気がするんですけど、皆さんどうですかね。

明石：やっぱりグレーベースにラインチェックの色が入ったものって結構人気なんですよ。ですので、採用されやすいです。逆に言うと、どこかにはあるっていうイメージはあります。話をぶり返して申し訳ないんですけど、それであれば、ちょっと今回落ちてしまったけど、向こうの元々赤いやつに付いていたものの方が、自由度は逆にあるかもしれない。その襟元での差別化はしやすいと思います。

委員長：悩ましいですね。確かに人気が高いのってみんな被ってくると思うのでということですよ。この辺はちょっと注意して最終的に決断しないといけないのかなと思いますが、やっぱりこういうスーツ系のデザインは知的に見えますし、標準服って扱いの中では比較的、学校さんも管理はしやすいのかなと思いますね。こっちはやっぱり人気のデザインにはなるんですけど、どこかにあるかもねっていうのは、ちょっと否めない部分があります。投票を採ってみてですね、票の入り方を踏まえて、最終的には決断するというところで、もし可能であれば、先生たちか事務局なのかメーカーさんか分からないですけど、近隣の制服の写真みたいなものとか比較表みたいなのは作れませんかね。資料ベースで当然いいと思うので。

明石：どの辺を狙いますか。

委員長：ちょっと比較されると困る、近隣の学校はどの辺なんですか。

委員：通学区域が隣接しているところでいいのかなあとと思います。

委員長：そしたら、春日、豊里、豊里中はちょっとまた制服と言ってもあれですね。そのブレザー採用しているところですかね。みどりのさんとか、そ

の辺ですかね。市内のブレザーの学校ってイメージでいいですかね。

明石：はい。承知しました。

委員長：他社が作っているのかもしれませんが、可能な範囲で集められますか。

明石：ホームページから写真を抜くのは肖像権的に問題ないですか。

委員長：そうですね、資料にすると著作権があるのかもしれない。見るだけだったらもしかしたらできるのかな。それか販売店さんとかに許可もらって写真だけ何かとかできますかね。その辺事務局で作成していただくのは可能ですか。

委員：学森の時の制服の選考の際に、今のお話にあるような資料をいただいた覚えがあるんですが、それは、今のご時世ですと展開するのは難しいですか。これがもし使えれば、今のニーズに合った良い資料かなと思ったんですが。

事務局：これは私が作りまして、全部学校にお願いして、学校からデータをいただいて作った記憶があります。ものによっては顔が映らないようになっています。データは学校にあるマネキンを写真に取って、送ってもらった形だったと思います。今の段階でやるとなると学校によってその制服も変わってますので、場合によってはそれを使えない部分も出てくるので、学校さんの協力がないと、ちょっと難しい気はします。

委員長：その学校も同じようなもの作られたら困ると思うんですよね。例えば、春日さんもみどりのさんも。そういう意味では、協力してくれるんじゃないかなと思うんですけど、それって、事務局として対応厳しいという判断ですか。

事務局：必要であればこちらで学校にはお話しして送ってもらう形になりますが、統一したものが作れるかどうかは微妙なところです。

委員長：全然バラバラでも結構ですので、本当に顔が載ってないところの写真

だけ、既存のものをトリミングでもしてもらって、送ってもらえればいいだけの話なので、ぜひ対応をお願いしたいのですが、よろしいですか。

事務局：はい、事務局です。学校さんの方に協力依頼をして、ご準備したいと思います。

委員長：はい、ありがとうございます。その辺はこちらでやりますので、最終的に決めるときに、その辺を準備いただけるとありがたいと思います。他、どうでしょうか。概ねは作るものとしては決まってきたのかなと思ってますけど、メーカーさん大丈夫ですか。

明石：はい。ネクタイ、リボンはとりあえず今付いているもので暫定として作ってしまっていていいですか。それとも一応この中から組み合わせだけは、今決めてしまいますか。ベースというか、

委員長：なかなか発散して決めきれないと思うので、とりあえず今のものできれい形がいいですか。

明石：私たちのチョイスでちょっと変更してもよろしいですか。

委員長：はいそこはプロの目でご提案いただければと思います。はい。一応これで一通り、試作品作製に向けては決めたと感じてはいますが、大丈夫ですか。

明石：大丈夫です。あとボタンの種類なんですけど、今学森さんの方が、後でまた見ていただきたいんですけど、開校年度で、学森のGっていうロゴを入れています。例えばこの辺のデザインも、次回の委員会の時にはいくつかのパターンのCGで持ってこようと思うので、そこをまたちょっと見ていただければと思います。とりあえず、暫定で進めますけども、例えば、今ぱっと見こちらのボタンって金色に見えると思うんです。黄色なんですけど。これはシルバーにしといてくれとか、その辺のご要望ってありますか。

委員長：学森は何ですか、シルバーですか。

明石：シルバーベースに中が紺の字のデザインなっています。

委員：冠婚葬祭のようなスーツとしての需要があると伺ったので、そう考えると、きらびやかじゃないほうがいいと思います。

明石：わかりました。ではシルバー系でアンケート別に揃えますので、それでCGを別に作ってきます。こんなデザインいかがですかっていうのを3パターンか作ってきますので、例えば、月桂樹で、学森のものをご覧になっていただくと、月桂樹ってよくスクール関係のイメージで使うんですけど、それは生徒がこう、伸びゆくっていう、そういう表現をするんですけど、そういうデザインがもし良いのであれば、入れさせていただければと思うんですけど、そういう何種類かパターンを作ろうと思うんですけど、何かご要望ございますか。では、いいですか私たちの思いで作ってしまっ。

委員長：そうしていただければ助かります。

明石：頑張ります。ではシルバー系のボタンでとりあえずアンケート用のものは進めさせていただきます。はい、以上です。シャツも白で問題ないんですよ。

委員長：そこはもう、そのまま、そこは作らないのでサンプルの時は白でお願いできればいいと思います。はい。

明石：あと、ごめんなさい、もう1つ。夏の素材なんですけども、多分夏用のズボンとかスカートは設定されると思うんですが、1個だけ先にご了承いただきたいのが、こちらのスカートなんですけど、いわゆるシャドーっていいまして、シャドーっていうかなんですかね、糸の寄り方を逆にして陰影を出すっていうテクニックを使っているんですけど、これは冬の生地ではできないんですね。夏の生地になると、色でこの陰影を表現するような形になるので、こういう見え方は夏素材ではしないってことだけご了承いただければと思います。

委員長：いいですかね皆さん。テクニック的な話をするともうあと1時間とかになってしまうので。じゃあこれで大丈夫ですかね。事務局が確認してい

くことはありますか。

事務局：最終確認といたしますか、素材のところは今回 A のところでも統一して OK で、デザインのところはアンケート結果はあるんですけども、一番左にあるものはプラン 2 のものという形ですよね。はい、ありがとうございます。

委員長：あの 2 つを作るってことですよ。

明石：ジャケットの素材はこちらで揃える。

委員長：そうですね。はい。そのイメージですが、大丈夫ですか。

事務局：はい。大丈夫です。プラン 5 はなしてことですよ。

委員長：はい、2 案でいくということで。はい。他、皆さん質問とかなければ、この辺で大丈夫ですか。はい。

事務局：1 つだけよろしいですか。今回アンケートを採って、確かに 3 番は多かったんですよ。プラン 2 は保護者さんも含めての 2 番だったんですけど、子供たちの票が多かったのはプラン 5 だったんですよ。実際に着るのが子供たちなので、子供たちの意見が 5 番ということについては触れなくていいのかなと思ったんですけど。

委員：ご指摘の点、子供の意見が、というのはご尤もだなって思いました。私のおくまでも想像ですけど、子供たちがプラン 5 を選んだのは赤いリボンだったんじゃないかと思っています。なので、赤いリボンを選んだとすれば、小物に赤の選択肢を入れれば、私はその点は解決するんじゃないかなと思っています。

委員長：はい、ご意見ありがとうございます。新設校居住者の方の地区で、子供のみで言えばプラン 2 とプラン 5 は拮抗しているんですよ。そこがありつつ、保護者側の意見とか踏まえると、プラン 2 ということなので、そういう意味ではトータル的に考えてプラン 2、いわゆる今の C ですか。提示していただいている C でいいのかなといったところで、いければなと思

うんですけども、皆さんどうですか。あと、赤のところを左右されたという話で意見が出ましたけども、やっぱり今の真ん中のデザインを採用した時に赤を入れるとコーディネートがおかしいっていう話をさっきもさせてもらったかと思うので、そこはちょっと、アンケートの結果も踏まえつつ、色んなことを考えてこれにしたっていうところはこの委員会の意味でもあると思うので、それでいければなと思っておりますけれども、皆さんよろしいですかね。どうでしょうか。A 案だったら赤でもいいのかもしれないですけどね。本当はね、3案できれば一番よかったです。それとも、ネクタイ系のところで、ちょっとこれから考えていただくことになってると思いますけども、少し赤系のものが可能性あるのであれば、見てもらうとか。

明石：それかなんですけど、アンケートの時のジャケットって、極端に言ったら A で揃えてもわかんないと思うんですね。なので、選択肢を増やすのが是非かっていう話はあるかもしれないんですけど、もうこの3つでアンケートだけ採ってしまうか。素材はもう A で決まりなのであれば、どれに着せてもぱっと見はもう変わらないので、赤の方のネクタイとリボンももうちょっとこう合いそうなやつを探してきますので、その3つでアンケートをすれば子供の意見もちゃんと吸い上げていますよって言えるので、やってもいいのかなと思うんですけど。

委員長：それは準備できるということによろしいですか。

明石：はい。ジャケットが変わらなければ。ジャケット作るのが一番時間かかるんですね。

委員長：それができるのであれば、お願いできると今の一番右にあるジャケットを変えるのが今の想定案ってことですよね。変えなくても、最終的には例えば現物見て触って、こうかってなるわけじゃないですね。多くはないと思うんですけど、もうぱっと見て投票するっていうことであればジャ

ケットの生地は A で決まっているだけで、私たちは十分なんですけど。だから、もうこのままで襟元だけ変えるのであれば、このままアンケートにかけても、逆に問題ないかなと思うんですけど。ボタンだけちょっと好き嫌い出ないように揃えさせていただいて、もう全く今のままでアンケートして生地は A のものにしますっていうことですね。それでもいい気がするんですけど。どうですかね皆さん。そんなに選択肢増やさない方がいいですか。いや、その辺は、やってもいいかなとは個人的には思いましたけどね。揃えるのが大変なのはあれですか、ブレザーは全部揃えるっていう。

明石：そうなんです。同じ生地で、あと 2 プラン分作ることはなるんですけど、そこが結構。

委員長：あれなんです。ちょっとずつ違うんですよ。

明石：微妙に違いますね。

委員長：A を C にも D にも着せれば良いっていう感じなのかな思ったんですけど、そういうわけではないんですか。

明石：A のこのジャケットを 5 に着せて、あんまり印象変わんないかなということであれば、ジャケットの色はほとんど変わりませんのでこの 3 つはあと襟元だけまた私たちの方で調整しますので、それで、もうボトムのアナケートはもうそれでやってみてもいいと思います。

委員長：素材は基本 A で。

明石：はい。

委員長：ではそれで試作品のアンケートはいいですかね。

明石：ボタンだけ合わせておきます。話ぶり返してしまって大変恐縮なんですけど、エンブレムはどうしましょう。そうするとさっき有り無しの議論がありました。基本はなしでいきますか。

委員長：1 つだけ入れるとか、そんなのはできるんですけど。どれか 1 つだけイメージ的に入れてもらえればいいのか。だって同じですもんね。ど

れか1個だけ入れておいて、設問で入れますか、入れませんかみたいなのを聞けばいいのかなと思いますので、それでいいですかね皆さん。はい、ではそれでいきましょうか。

委員：文章で付けます、付けませんというのをちゃんと読んで投票すればいいんでしょうけども、ぱっと読んじゃって写真でぱっと見た時に、エンブレム付いているのと付いていないので大分印象も変わってくると思うので、それ込みの好みで入れる人も多分いると思うので、だったら付けるのは全部付けて、付けるとすれば500円とか、金額かかるんですけども、必要の有り無しの意見をそこで一緒に聞くとか、そういう感じで、または付ける、付けないは後で決定になりますという文章を入れて、条件は一緒の方がデザインのアンケートとしてはいいのかなと思います。

委員長：はい。そうですね。その辺は全部付けるようにしておいて、何か横に付けないものとか、何もなくて置くとかっていうのもありかなと思ったりもしますけどどうですかね。ジャケットだけで付けてないものをマネキンに掛ける。付けてないときのイメージが皆さん持てないのかなと思って、その辺のところのサービスをするかだけだと思うんですけど。多分、全部付けていると、回答に左右されちゃうと思うんですが、アンケートする中でバイアスみたいな形で誘導するような形になっちゃうんですよ。それを避けるためには、バイアスを排除するための工夫が必要であって、それをどういうふうに配慮するかっていうところだけなんですけど、多分それだったら付けない方がいいのかなとは思いますがね。なのであれば、付けないで意見を採っておいて、後から付く分にはいいと思うんですけど、付いているのがないとなるとちょっとまたイメージが湧かない。やるとしたら、付いているのと付いていないものの紙の資料くらいはアンケートの時に見せるのはありかなと思いますけど、どうですかね。

明石：それならば学森さんのものを隣にでも置いておきますか。

委員長：参考に置いてあるのはいいと思います。確かにこの3つの隣に学森のものがあるのは非常に良いと思いますので、ぜひそれは、準備していただくとありがたいです。アンケートの時も学森のものはこれですっていうサンプルを見せて、A、B、Cで写真を提示すれば分かりますかね。そうすると、付けない方向で、試作品を作るって形にしますか。

明石：はい。承知しました。

委員長：結果的に作らないって回答が多すぎたら、その時はもう色々と教育上の問題があるのかもしれないですけど、まあしょうがないという形でいければなと思います。それぐらいですかね。最後振り回して申し訳ないんですけど、大丈夫ですか。他には大丈夫ですか、皆さん。事務局も大丈夫ですか。二転三転しましたが、あまり労力をかけないでこの3案で作っていただくという形でお願いできればと思います。何もなければ、事務局にお返しさせていただきます。

事務局：はい。委員長、進行ありがとうございました。メーカーさんありがとうございました。次回の委員会につきましては、またメーカーさん、委員さんの皆様と日程を調整させていただきまして、8月下旬頃を目途に設定をさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。最後に何か皆様からご意見等ございますでしょうか。大丈夫でしょうか。すいません。本日は長時間にわたりましてありがとうございました。これをもって第13回（仮称）研究学園小・中学校開校準備委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。

4 閉会